

## 5 ミニトマトにおける効率的な生産方式の導入(経営面積:10a→20a)

### 前提(新規就農タイプ)



ミニトマトで新規参入した生産者が、経営開始資金等受給終了後(就農後3~5年経過)、自動施肥・かん水装置などの導入と作付拡大により所得の向上を図ります。

### 現状



#### 経営内容

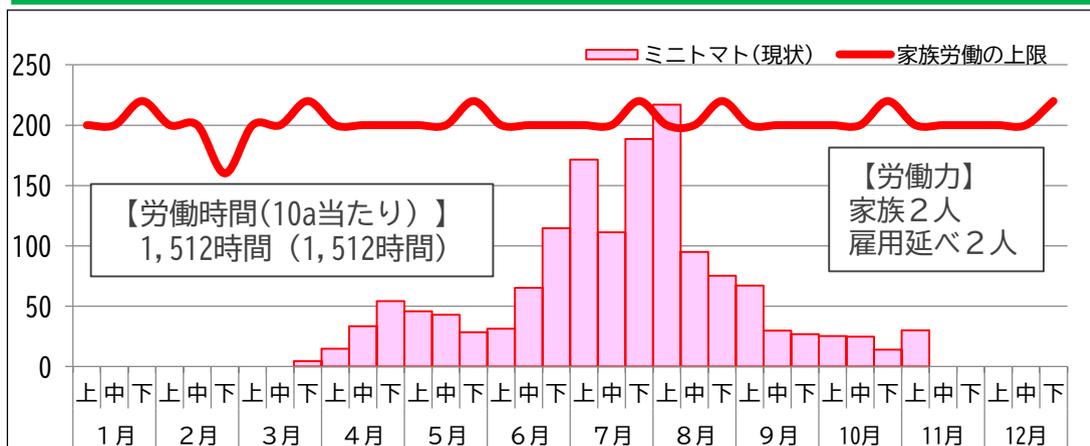
品目構成	ミニトマト
経営規模	10a
販売単収	5,079kg/10a
販売単価	708円/kg
主な資本装備	パイプハウス(100坪3棟) トラクター(30ps) マルチャー 揚水ポンプ 形状選果機 等

※現状の規模・販売収量等は、JA全農あおむりの野菜生産販売計画策定会議資料から引用

#### 経営収支

粗収益	3,596千円
経営費	2,288千円
所得(所得率)	1,308千円 (36.4%)

#### 労働時間



## 問題点



- 施肥・かん水量の過不足による減収や夏季の収穫作業との競合



収穫期のミニトマト

- 高温や高温期の過遮光(遮光資材の常時展張)による秋季の減収



かけっぱなしの遮光資材

- 高温による規格外品の増加

## プログラムのポイント



- **自動施肥・かん水装置**の導入  
→少量多回数の施肥・かん水により、収量の増加が期待できる他、作業の省力化が可能となります。
- **セル苗(2本仕立て)の6月定植**の導入  
→単価の高い9~10月の安定出荷が期待できます。また、種苗費を削減できます。
- **細霧冷房装置**や**自動調光システム**の導入  
→高温による障害を軽減しつつ、安定的な収量を確保できるほか、防除作業の省力化が可能となります。
- **委託加工**による新たな価値の創出  
→規格外品をジュースへ加工・販売することで新たな価値を生み出します。



自動施肥  
かん水装置

# 導入する技術



## 自動施肥・かん水装置の導入

効果	経営収支（10a当たり）		
販売単収が20%程度増加します。 5,079kg/10a→6,095kg/10a(1,016kg/10a増)			
かん水・施肥の作業時間が99%削減できます。 61.5時間/10a→0.6時間/10a(60.9時間/10a減)			
肥料費が8%削減できます。 137千円/10a→126千円/10a（11千円/10a減）			
	項目	現状	導入後
	粗収益	3,596千円	4,315千円
	経営費	2,288千円	2,540千円
	所得 (所得率)	1,308千円 (36.4%)	1,775千円 (41.1%)

## セル苗(2本仕立て)の6月定植の導入(定植時期：5月上旬→5月上旬+6月中旬)

効果	経営収支（10a当たり）		
販売単収が13%程度減少します。 5,079kg/10a→4,444kg/10a(635kg/10a減)			
平均販売単価が12%程度上昇します。 708円/kg→794円/kg（86円/kg増）			
種苗費が20%減少します。 483千円/10a→385千円/10a（98千円/10a減）			
	項目	現状	導入後
	粗収益	3,596千円	3,352千円
	経営費	2,288千円	2,008千円
	所得 (所得率)	1,308千円 (36.4%)	1,344千円 (40.1%)



## 細霧冷房装置や自動調光システムの導入

### 効果

販売収量が26%程度増加します。  
5,079kg/10a→6,400kg/10a(1,321kg/10a増)

防除の作業時間が87%削減できます。  
27.4時間/10a→3.6時間/10a(23.8時間/10a減)

### 経営収支（10a当たり）

項目	現状	導入後
粗収益	3,596千円	4,531千円
経営費	2,288千円	2,650千円
所得 (所得率)	1,308千円 (36.4%)	1,881千円 (41.5%)

## 委託加工によるジュースの製造・販売

### 効果

10a当たりで383千円程度の所得が期待できます。

0円/10a→383千円/10a(383千円増)

※ジュース加工の収支

販売額1,256千円-経費873千円=383千円

### 経営収支（10a当たり）

項目	現状	導入後
粗収益	3,596千円	4,852千円
経営費	2,288千円	3,161千円
所得 (所得率)	1,308千円 (36.4%)	1,691千円 (31.6%)



## 作付面積の拡大

### 効果

総出荷量が200%程度増加します。  
5,079kg→10,158kg(5,079kg増)

### 経営収支 (10a→20a)

項目	現状	導入後
粗収益	3,596千円	7,192千円
経営費	2,288千円	5,112千円
所得 (所得率)	1,308千円 (36.4%)	2,080千円 (28.9%)

## 導入後の姿（全ての技術導入時）



### 経営内容

項目	現状		導入後	増減
品目	ミニトマト			—
経営面積	10a	➤➤➤	20a	10a増加
販売収量	5,079kg/10a	➤➤➤	6,489kg/10a	1,410kg/10a増加
販売単価	708円/kg	➤➤➤	731円/kg	54円/kg上昇

### 経営収支

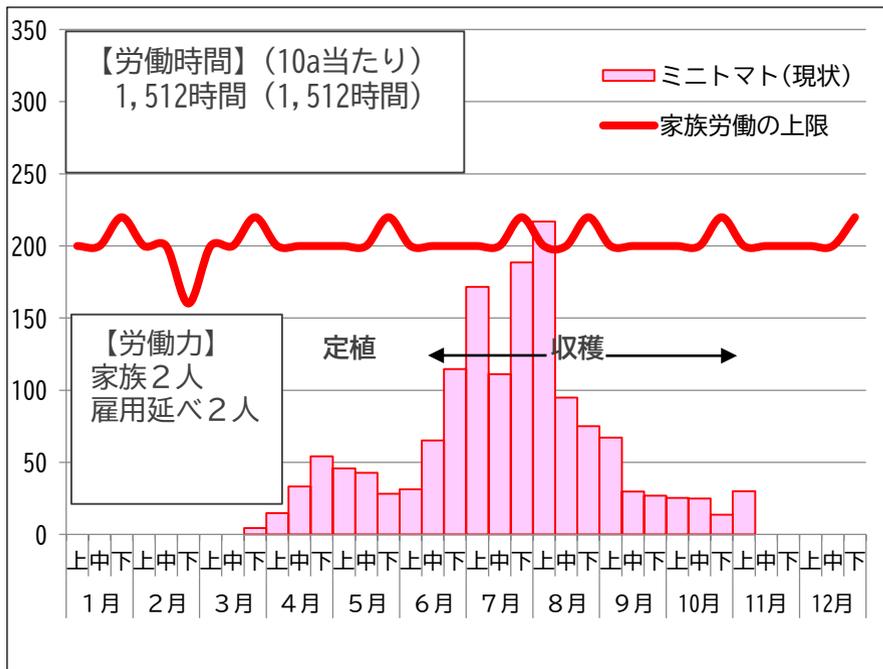
項目	現状		導入後	増減
粗収益	3,596千円	➤➤➤	13,355千円	9,759千円増加
経営費	2,288千円	➤➤➤	8,117千円	5,829千円増加
所得 (所得率)	1,308千円 (36.4%)	➤➤➤	5,238千円 (39.2%)	3,930千円増加 (2.8%増加)
【経営面積当たり】		➤➤➤		
所得 【10a当たり】	1,308千円		2,619千円	1,311千円増加

# 導入後の姿 (全ての技術導入時)

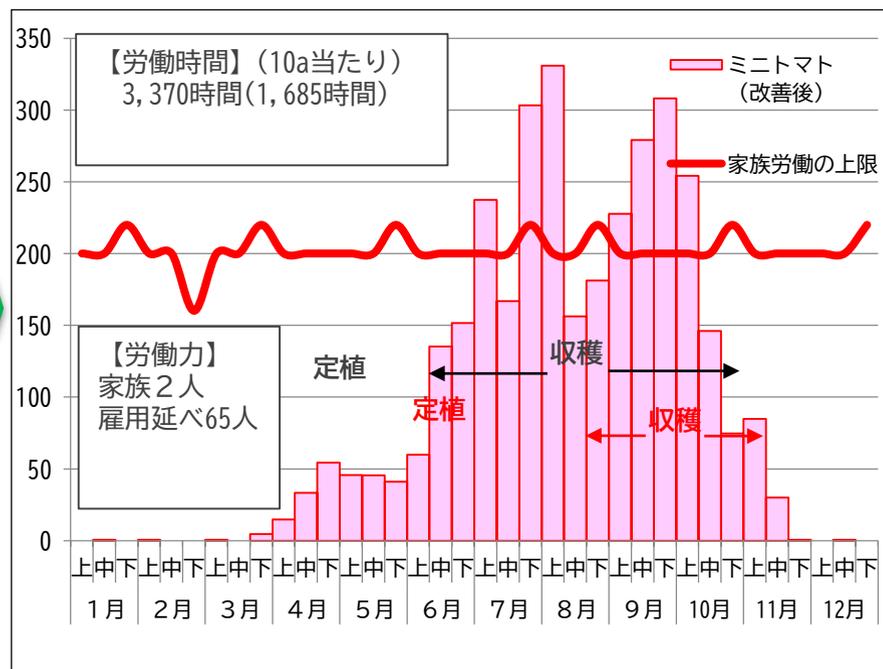


## 労働力・労働時間

### 現状



### 導入後



作付面積、生産量の増加により労働時間が1,858時間増加  
(10aあたりでは173時間増加)



資本装備

現状	追加投資	
	導入する設備	負担区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプハウス （100坪3棟）</li> <li>・トラクタ（30ps）</li> <li>・マルチャー</li> <li>・揚水ポンプ</li> <li>・形状選果機 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプハウス(100坪3棟) 8,307千円</li> <li>・自動施肥かん水装置 900千円(20a)</li> <li>・自動調光システム 1,500千円(20a)</li> <li>・細霧冷房装置 5,100千円(20a)</li> <li>・冷凍ストッカー(400kg) 210千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総事業費 16,017千円</li> <li>・補助金(1/2補助) 7,903千円</li> <li>・自己負担 8,114千円</li> </ul>